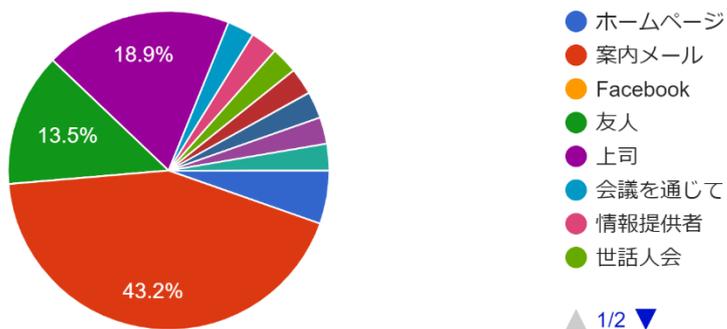


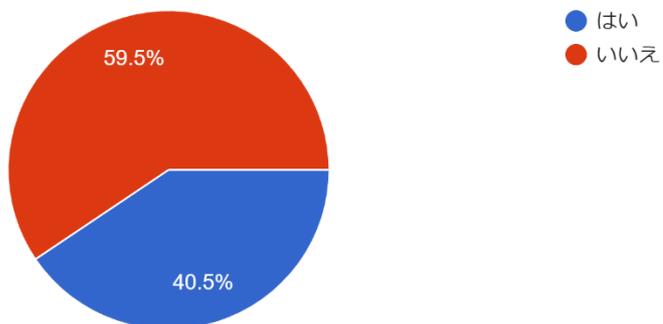
看護未来塾 第14回勉強会アンケート集計 報告

- 1. 参加申し込み 61名 + 世話人
- 2. 参加人数 75名

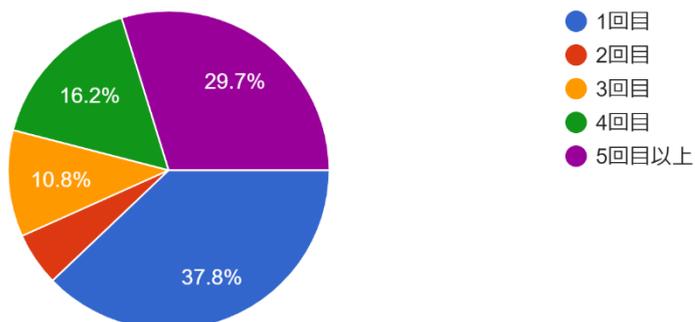
Q2 今回の勉強会が開催されることをどのように知りましたか
37件の回答



Q1 看護未来塾の塾員ですか
37件の回答

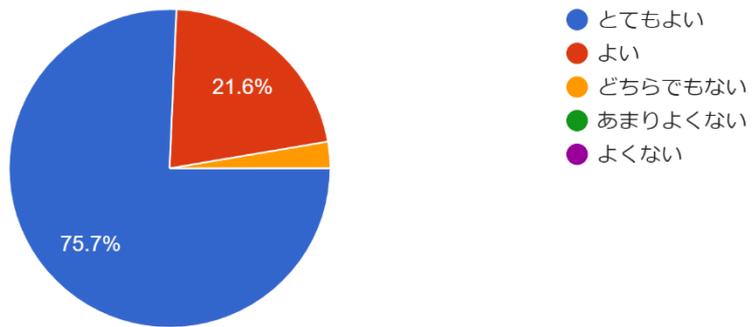


Q3 看護未来塾勉強会への参加は何回目でしょうか
37件の回答



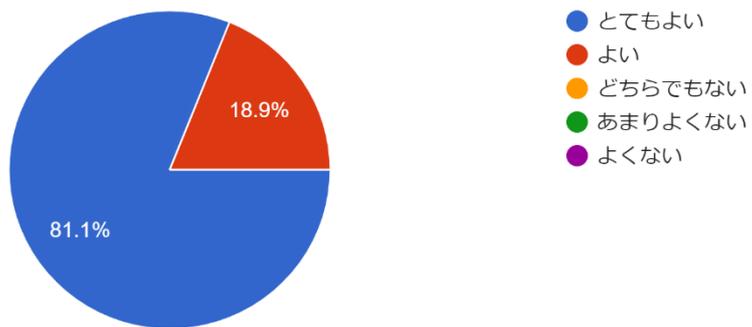
Q4 第14回勉強会の趣旨についてあてはまるものを選択してください

37件の回答



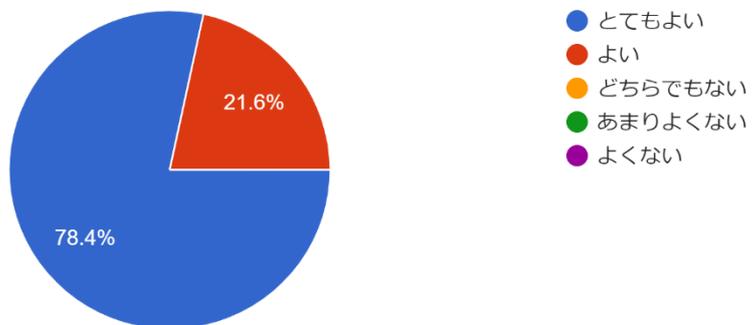
Q5 テーマ1

37件の回答



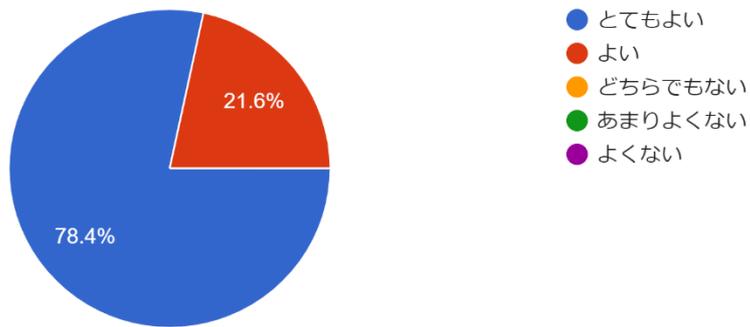
Q6 テーマ2

37件の回答



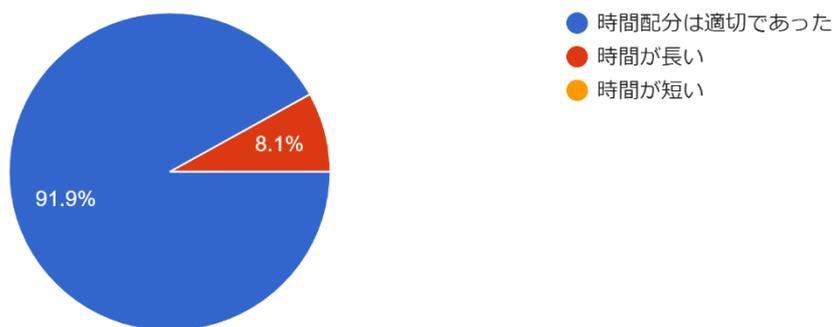
Q7 テーマ3

37件の回答



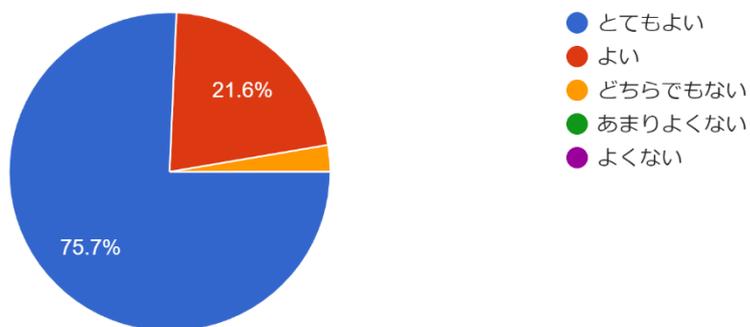
Q8 全体討論会の時間配分について当てはまるものを選択してください

37件の回答



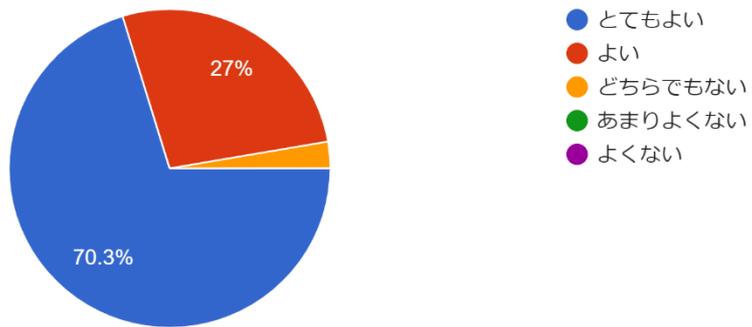
Q9 全体討論会の内容について当てはまるものを選択してください

37件の回答



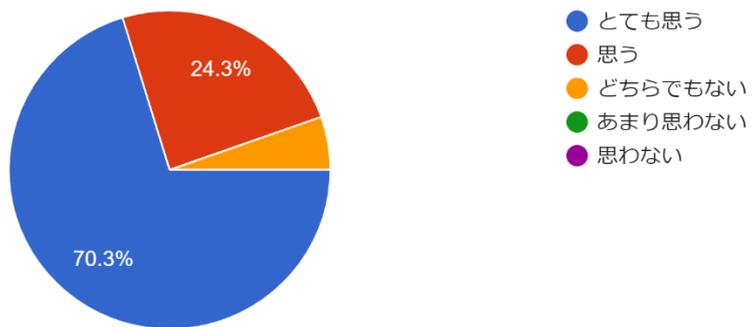
Q10 リモート勉強会の開催方法について当てはまるものを選択してください

37件の回答



Q11 また、看護未来塾に参加したいと思いますか

37件の回答



Q12. 感想・意見

<触れるは看護の原点>

- コロナ禍だからこそ“触れる”ことの大切さ、意味について深く考えられました。看護の本質を改めて考えるきっかけとなりました。
- コロナに対応された看護師の葛藤を共有できた気持ちです。看護の基本である、手を当てて看るということを前提にコロナの患者さんにどんな方法で提供していけばいいのか、考え続けてきた結果の一部だと思います。
- とても感銘を受けました。触れるということをもっともっと大切にしながら、考え実践していきたいと思えた勉強会でした。
- どのような状況でもケア触れるケアへの追求、素晴らしかった
- どんな状況においても丁寧にケアを提供すること、患者さん個人にとって必要なことは何かを考え、何を提供できるかを考えることが、看護には必要なことではないかと皆様の話を聴いて思いました。
- 手で触れるということに関して、もう少し議論が深められればと思いました。
- 触れることを自分としても大切にしていますが、そのケアの大切さについて改めて実感いたしました。

<COVID-19 感染者への看護ケアの実践知>

- 3例とも最前線の実践報告で、過酷な状況下で看護の原点を見失わずに果敢にチャレンジしており、大変感動的な事例で励まされました。
- COVID-19 感染者への看護ケアにおける本質的なテーマに関して、演者の方々の豊かな実践のご報告に目から鱗！でした。さらに、全体討議を通して考察を深め、重要な気づきを得ることができました。
- COVID-19 患者に通常ケアができないことへの不全感の声をよく聞いていましたので、触れるケアをどのようにしているのか大変興味深く聞かせていただきました。自施設にはできないかもしれないという考えがあるように感じているので、できるようにするにはどうすればいいのかをもっと考えていきたいと思えます。
- COVID-19 感染下での看護師の活動の実際を知ることができて良かったです。熱布バックケアがコロナの患者さんだけでなく、一般の患者さんにも実践されるようになると良いのにとこころから思いました。
- TVなどでは、ICUでの器械による管理などの変容としてナースの仕事の重要性に焦点を当てた報道が多いですが、そこにいる患者や家族の思いや治療提供だけでなく、「看護ケア」という視点の実態も、世間に報道してほしいと思えます。
- 看護師が大変だ、という報道は出ていますし、給料のアップなども話題になりますが、患者・家族の苦しみを緩和するようなかかわりをしているということも、もっと知らせたいです。
- 現在の状況下において、看護がどのようにかかわっているのか、看護職だけではなく一般の方々にも知ってもらえるとよいと思えます。
- 大変な状況にもかかわらず、よりよいケアを目指して頑張っておられることを、直接伺うことができました。とても感動しました。ぜひ、実践知を公表してってください。勇気を得られました。

<看護師の使命感>

- それぞれ看護師の使命感でこの一年を戦ってきたのだと思いました。
- ほんとに、自分たちに頑張りましたね。と褒めてあげたいと思います。

<置き去りにされている通常業務に専念する看護師>

- コロナの看護を考えると、そちらにばかりスポットが当たり、コロナ以外の患者さんのケアに当たる看護師が置き去りにされている気がします。コロナ患者を診るために、それ以外の部署の看護師も苦境に立たされています。そのことも知ってもらいたいです。

<看護教育の課題>

- 大学での看護技術の演習に取り組んでいますが、手袋装着の徹底などにとらわれて本来のケアを見失わないようにどうすればよいか引き続きの課題です。今回の勉強会から、臨床現場で看護の根幹を忘れないようにしている姿に力をいただきました。
- 直接本日のテーマと関係ないかもしれませんが、NPO法人健康と病いの語りのディベックスジャパンでは、コロナ経験者の語りのデータベースを作成し、公開しています。看護師（医療者）のこのようなことも、加える必要があるな、と感じました。また、看護師から良いケアを受けた家族の語りも重要かもしれません。こちらで検討したいと思います。<https://www.dipex-j.org/covid-19/>
- 決して拮抗するものではないが、「触れる」ことは何かをするための手段であり、それ自体を目的にすると見失うものがあるのではないかと思った。今回の発表で共有された内容は、目的と手段を明確にしてケアを構築されていたと思う。手段の目的化を防ぎつつ、その時どきの最適解を見出し、ケアを構築して提供できると良いと思う。午前中に別の勉強会で、これまで看護師が体を使って行っていたこと（例：患者の移乗等）をテクノロジーで代替することで、看護師の体への負担を低減しながら、患者にも負担の少ないケアをする必要がある、という話題があった。中にはボディメカニクスを駆使して患者を移乗することにこだわる考えもあるようだがそれはどうなのか、という議論であった。この勉強会とは「触れる」点でいうと真逆の話にみえるが実は同じことなのだと思う。

Q13 感染予防と触れるケアの両立への参加者の実践

- （新型コロナの感染予防ではないのですが）病棟において、ケアの際に手袋の装着が当たり前になってきていますが、清拭や部分浴などにおいては、手袋の必要がないと判断したときは素手で実施しています。やはり手袋では分かりにくいと思います。特に部分浴の際、垢の取れ方は手袋では分かりません。触れられている方も素手の方が気持ちよいと思います。その代わり、そのあとの手洗いはしっかりとしています。
- PPTを守りながら、体に触れる、さする、温めるは施設でも日常のケアです。でも脈は感じにくく、サーキュレーションに頼りっぱなしで、きめ細かい観察はしにくい現状です。
- バックケアをするとき、いつも手をしっかり広げて手の付け根から指先まで神経を集中させて

マッサージはしていました。そこから患者さんの呼吸、痰の動き、温感、皮膚のやわらかさは感じ取れます。感染予防しながら触れることを追求していけば、きっと改善策が生まれるのではないのでしょうか

- 感染予防と触れるケアの両立をしている看護職者への肯定的なフィードバックを意図的に行っています。
- 手で触れるケアは一般病棟でも減っていると思います。私は今回コロナ専用病棟での実践で改めて触れることの大切さを学びました。手袋をしていても、触れることに意味があると思っています。
- 残念ながら実践がありません。触感が人間の手に近い手袋の開発は、賛成です。
- 手袋をしていても、そこに心をこめるタッチの仕方、言葉と心で、ラバーの壁を補うかわりも意識していくことで、手袋が「妨げ」にならないようにできると思います。
- まずは、一般病棟でも、手袋を当たり前と思わず、患者・家族と手袋の存在を共有できる機会が持てるといいと思います。
- 例えば、一日1回、短時間でもいいので、ぬくもりを感じあう時間、マスクを外して、自己紹介をする、など、感染につながらないような工夫をもっと実践していけたらいいと思います。
- 当院でも感染対策をして直接面会をしていただいております。
- 論点が違ってしまうのですが...コロナ禍の面会制限でコロナ以外の患者様であっても家族に会えないまま一人で最期を迎えなければならない方もたくさんおられると実感した出来事が最近ありました。コロナの方だけの問題でなく本当に誰しもが当事者となる悲しすぎる事態だと感じます。一般病棟での面会、看取りについても早くなんとかできないものかと思っています。

Q14 今後の勉強会についての要望

- 本日のディスカッションでも話題になっていましたが、看護職者の心身の健康をコロナ禍でも維持、増進するための実践などについて勉強できると良いと思います。
- 今回、話題になっていたメンタルケアの点に関しても伺いたいと思いました。
- また、コロナに関連した内容に期待します
- 看護師の働き方改革
- 他職種を交えて、連携やチームワークのありかたについて話し合えたら良いですね。
- 看護基礎教育で教えるべき看護技術について悩んでいます、技術演習時間に限りがあり、取捨選択が難しいです。